

おいしい時間 ラーメン ぼっけもん

オリジナルスープとチャーシューが人気

深い味わいのオリジナルスープとボリュームいっぱいのステーキチャーシューが人気のラーメン専門店。

社長の森武文さんと友人の市村一郎さんが平成12年にオープンした。

メニューは、にんにくラーメン、白(塩)、黒(しょうゆ)、赤(味噌)の3種の油そば、しょうゆ、とんこつ、みそラーメンなど7種類が基本で、トッピングによって多くのバリエーションがある。



スープは、はほまい歯舞産の昆布など11種の食材を36時間以上煮

☎3430-6143 東和泉1-21-9ロータス狛江1階 営業=午前11時~午後3時/6時~10時30分(日曜日は10時まで、ラストオーダーはいずれも15分前)



込んで作るという。バラと肩ロースを使った自家製チャーシューは、ラーメンスープで煮込み味に深みを加えている。特製スパイスをかけて焼く厚さ10mm以上もあるステーキチャーシューは箸で切れる柔らかさだ。

さっぱりした味わいの油そばや注文を受けてから調理する熱々の鉄板バターライス、とろとろになるまで煮込んだ豚足も好評だ。

- MENU (税込)**
- ① ぼっけもんにんにくラーメン ¥1,500
 - ② 冷し油そば白 ¥850 (太麺 ¥200増)
 - ③ 鉄板バターライス ¥400 (麺同時注文 ¥300)
 - ④ 豚足 ¥600、とんこつラーメン ¥850、醤油ラーメン ¥850、みそラーメン ¥950、ピリ辛スタミナラーメン ¥950

25年度の狛江ラーメン逸品コンテストで「白い油そば」が、28年度の狛江ヌードル逸品コンテストで「狛江の塩ラーメン」がそれぞれ優秀作品賞を獲得。「白い油そば」は現在も人気のメニューになっている。

カウンターとテーブル合わせて18席の店には、若い男性だけでなく女性や高齢者も多く訪れる。

市村さんは「素材選びから調理まで手間を惜しまず丁寧に作っています」と話している。



スポーツ功労賞に3個人 1団体

狛江市スポーツ協会(富永茂和会長)はスポーツ功労賞に3選手1団体を決定、8月23日(日)に催した同協会の令和7年度納涼スポーツ関係者交流会で表彰した。

この賞は、日本代表や都大会などで活躍した狛江市に属する選手や団体が対象。今回表彰されたのは、狛江第二中学校在学中に東京都代表に選ばれ、昨年12月の第38回全国都道府県対抗バレーボール選手権大会(JOCジュニアオリンピックカップ)で都の優勝に貢献した野中豪太さん(16、駿台学園高等学校1年)、令和5年~6年のマンハイム大学留学中にラクロスでドイツU20代表として活躍した辻村颯之介さん(21、狛江第三小学校出身、学習院大学4年)、ラクロス女子日本代表の河合寧々さん(23、狛江第四中学校出

身、neosince2013所属)、今年の第42回市町村対抗軟式野球大会決勝戦で狛江市代表として初優勝したSCRATCH(幸山大介代表、約30人)。

表彰者のコメント

野中さん「得意技はスパイクです。高校でも文武両道でがんばり、将来はバレーボールの強い大学を目指したい」

辻村さん「高校までサッカーで、ラクロスは大学から新たな挑戦として始めました。関東学生リーグで1部昇格という目標を達成した

- | | |
|--------|---------|
| バレーボール | 野中豪太さん |
| ラクロス | 辻村颯之介さん |
| ラクロス | 河合寧々さん |
| 軟式野球 | SCRATCH |

い」。河合さん「大学で高校時代の先輩に誘われクラブチームに入りました。スピードの乗った1対1のプレーでかけ引きするのが得意です。これからも日本代表として活躍したい」SCRATCH「3年前は準優勝だったので、リベンジできました。来年は2連覇を目指したい」



狛江駅前阿波踊りの輪 狛江フェスティバル

狛江フェスティバル2025(同実行委員会主催)が9月6日(土)・7日(日)にたかちゃんえきまえ広場と泉龍寺、エコルマ側道、泉の森通りなどで催され、家族連れなど多くの人が夏まつりを楽しんでいた。

泉龍寺では露店が並んだほか、舞台上でさまざまな発表が行われた。たかちゃんえきまえ広場ではブルワリーや飲食店などがビールやつまみなどを販売、泉の森通りではスイーツや雑貨などの出店を行った。駅前ステージでは狛江市民が所属している初参加の点晴連が阿波踊りを披露し人気を集めていた。

ともしび音楽隊が25周年 12日に記念コンサート

「狛江ともしび音楽隊」(伊藤輝芳代表)が12日(日)午後2時から西河原公民館で結成25周年記念コンサートを開く。

同会は平成13年から高齢者などの施設を訪問し昭和歌謡を中心とした歌とバンド演奏を行う活動を始めた。現在はトランペット、サクソ、トロンボーン、ヴァイオリン、フルート、ピアノ、ギター、ベース、ドラム、パーカッションなど器楽15人、ボーカル5人で編成、レパートリーは約370曲を数える。会員は市内と周辺の40代~70代の元プロのミュージシャン、カラオケ教師、音楽愛好家などで平均年齢は67歳。市内の音楽イベントにも出演、自主コンサートを年間10回ほど舞台上で演奏する。歌うだけでなく、

曲の時代背景を紹介し「思い出がよみがえる」と好評だ。

25周年コンサートでは、「瀬戸の花嫁」「襟裳岬」「銀座の恋の物語」など昭和を代表する20曲を演奏する。入場料は1,000円で当日券もある。伊藤さんらは「25周年を迎えられたのは多くの人に支えてもらったおかげ。このコンサートで恩返しをしたい」と話している。

問い合わせ ☎090-1406-9966伊藤さん。



狛江発のラガービール 地域ぐるみで共同開発

地域の人たちと共同で製品化したラガービール「宴結」が9月6日(日)に発売され、人気を集めている。

さつき会が5日に「共に楽しむコンサート」

狛江精神保健福祉家族会「狛江さつき会」が狛江市障害者団体連絡協議会と共催で5日(日)午後2時~4時に泉の森会館で「みなさんと共に楽しむコンサートvol.6」を催す。

同会では、障がいがある人もない人も一緒に音楽を楽しめる場を提供することを目的にコンサートを催している。イベント



は前半がフルート、ピアノ弾き語り、ピアノのミニコンサート、後半が歌声喫茶のように会場で募ったリクエスト曲を参加者が一緒に歌う二部構成。ただ聴くだけでなく、参加者も共に表現し、創り上げることを重視している。定員80人(先着順)で入場無料。

同会は精神障がいを持つ方の家族を対象とした相談会と交流会を、毎月第4火曜日の午前10時~正午に催している。

問い合わせ ☎090-1455-9053伊藤さん。